

アニマルウェルフェアに配慮した 肥育豚の飼養管理技術の開発

背景

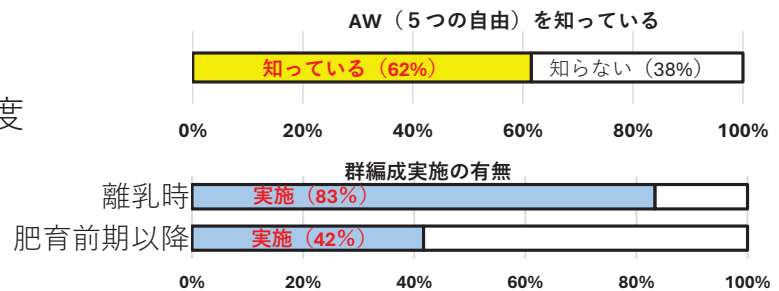
- ・アニマルウェルフェア（AW）とは「家畜の快適性に配慮した飼養管理」
- ・家畜を快適な環境下で飼育することで、家畜のストレスや疾病の減少が重要

目的

豚にとって大きなストレスである社会的順位付けのために本能的に行う群編成時の「ケンカ」を減らすため、飼育密度や遊具設置効果を検証する。

アンケート調査－AWを知っている？

- ・R4年に県内養豚農家に対しAWの認知度について、アンケート調査を実施
- ・「5つの自由」の認知度は61%であり、また、多く農家で群編成を行っていた。



試験1 飼育密度との関係

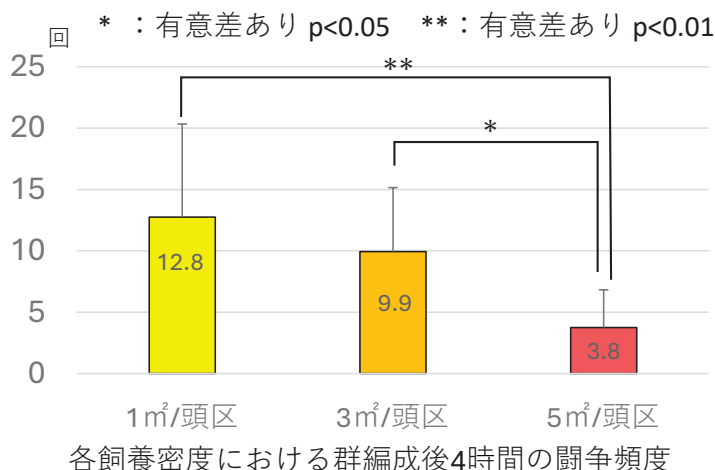
- ・オガコを床に敷いて飼育
- ・密度を1㎡/頭・3㎡/頭・5㎡/頭に調整
- ・群編成後4時間のケンカの頻度を測定



高密度飼養区（1㎡/頭）



低密度飼養区（5㎡/頭）



飼養密度の調整で闘争減少

試験2 遊具設置の効果

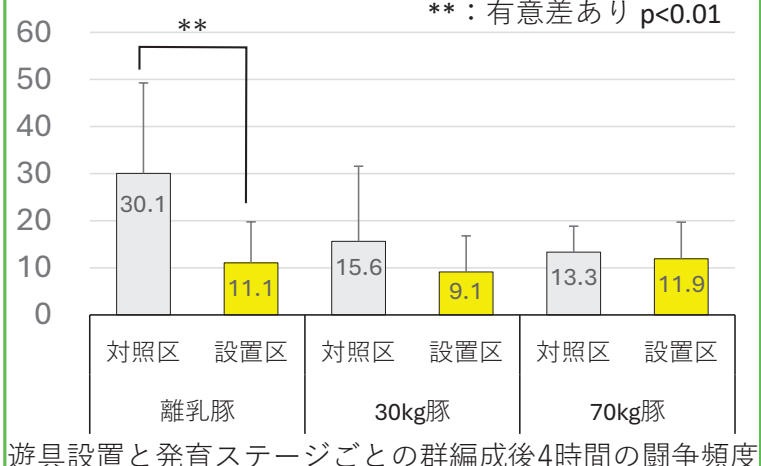
- ・3つの発育ステージ（離乳豚・30kg・70kg）
- ・発育ステージにあわせた遊具を設置
- ・群編成後4時間のケンカの頻度を比較



長靴（離乳豚）



ゴムベルト（肥育豚70kg時）



離乳豚は遊具の設置で闘争減少

豚にも快適な飼育環境を提供！

AWに配慮した飼養管理を実践することで、AWに対する意識醸成や、ケガやストレスの軽減による生産性の向上につながることが期待される。

